

令和6年度 第1回 新・いわき湯本温泉コンテンツ創造ワークショップ 結果概要（要旨）

■ 日 時

令和6年12月5日（木） 18:30～20:00

■ 場 所

吹の湯旅館 3階 大海の間



■ 全体の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶
 - ・いわき市観光振興課 小河原課長
 - ・じょうばん街工房 21 箱崎副会長
- 3 ワークショップ
 - ・アイデアフラッシュ～自らがやりたい、あったらよいと思うアイデアを考える～
（ファシリテーター：面白企画創造集団トコナツ歩兵团団長 渡部祐介※）
※株式会社マイロックチョコレーツ代表
- 4 常磐地区市街地再生整備に関するプロジェクトの検討状況の報告
 - ・湯本駅周辺土地地区画整理事業（いわき市都市整備課）
 - ・（仮称）常磐地区交流拠点施設整備事業（いわき市創生推進課）
- 5 閉会

■ ワークショップの概要（要旨） ○：参加者 ●：ファシリテーター

<企画立案の進め方>

- ファシリテーターが参加者の皆さんに対し、「企画を考える上で重要なこと」「どのようなことを実施して企画を行っているか」を投げかけ、企画立案の進め方について意見交換を行いました。
- そして、ファシリテーターから、プロの企画は「(0) 想い」→「(1) 自分を知る-素材を探す-」→「(2) 他人を知る-情報を収集する-」→「(3) アイデアを出す-素材×情報-」→「(4) 差別化を加える-プランニング-」→「(5) コンセプトメイキング」のステップ（順序）で立案されていくことを学びました。

（主な意見等）

- 企画の考え方について、私たちは7つに区切っています。どのような考え方をし、7番目の「実行」まで辿り着くのか、思いつく方いますか？
 - 旅館や飲食などの状況を調査する。
 - マーケティング。
 - どのくらいお金がかかるか。
 - 困っていること、問題点を出す。
 - 分析する。
 - 作る場所を考える。
 - 名前を決める。
- もう少し構造的な視点ではないでしょうか？
 - 設計をする。
 - 費用対効果と作った後の責任の所在。
 - 過去の歴史を調べる。

- そもそもの想い。
- 基本的には、全部正解。プロの企画屋として、少し分かりやすく、普通の企画との違いを説明しながら、ちょっとまとめていきます。
- まず「想い」が大事。順番をゼロ番目としているのは、想いがあるのは当たり前だからです。想いがないと、ここから先に流れていくのが難しくなります。
- 次に1番目は、自己分析的なこと。例えば、企業に長くいると、自分の企業のことを冷静に見られなくなったり、まちに長く住んでいると、外から見たらどう見えるかという自己分析が難しくなったりします。私たちは企画を進めるときに「自分を知る」ことをします。特に忖度なくやります。
- 次に2番目は、他をみること。例えば世の中の流れや、過去の歴史とかにも通じます。「他人を知る」こと、情報を収集します。
- そして、3番目に、自分のこと、強みや弱みなどの自分の「素材」と、他から学んだ「情報」とを掛け合わせて、「アイデアを出す」ことをします。
- 次に4番目に、「差別化を加える」作業をします。他のものとの違いをハッキリさせます。パブリシティが得られるように企画します。差別化は「どうやったら多くのお客様に届くのか」ということを最初から考えて企画する上で非常に大切です。
- そして、5番目に「コンセプトメイキング」をします。一言でいうと、ブレない軸をつくります。
- それが出来たら、収支を考えて、場所を考えて、設計を考えて、といった「実行」に移ります。そして、「改善」や「再実施」となります。
- 素人の企画は、この4番目、5番目まで到達していないことが多いです。このワークショップでは、企画立案の5番目まで進めていきたいと思います。今日は、おそらく3番目から4番目までのお話を皆さんとやっていきます。

＜アイデアフラッシュ＞

- 参加者の皆さんからの、湯本の街で「自らがやりたいアイデア」又は「あったらよいと思うアイデア」の発言を受け、ファシリテーターが「そのアイデアが企画立案のどのステップにあるか」「他のどのアイデアと組み合わせるとよさそうか」などを補足しながら、アイデアをマトリックスとしていくワークショップを行いました。

(主な意見等)

- 今日は、いわき湯本で「自分でやりたいアイデア」と「あったらいいなと思うアイデア」を、みんなから募集します。
- そのアイデアは、人によって企画のステップの段階はマチマチですので、どの段階にあるのかプロットしていきます。
- また、誰かが言ったアイデアに乗っかって、拡張していくのもあります。
- 縦軸に企画立案のステップ、横軸にみなさんの言ったアイデアをサポートしながら並べていきます。
- ビジョンブックを作成した際にも、同じようにワークショップでアイデアを市民にお聞きしたことがあったと思います。その際に調べて出した意見については何も反映されていないなと思ってしまっているのですが。
- ビジョンブックをつくるアイデアとして、全て読ませて頂き頭に入れて、それをプロとして取捨選択し、今のビジョンブックになっています。あの時は、大きい視点で「まちがどうなったらよいか」という感じでしたが、今回は、もっと小さなコンテンツです。例えば「うちの商売でこういうことやりたい」「こういうお土産をつくってみたい」「こういう飲食があったらいいな」「自分はこういうビジネスをしてみたい」などが、今回のワークショップの趣旨です。

- この街に、新しいビジネスやサービスが生まれるといった、一つ一つの積み重ねが大切です。それではアイデアをお聞きしていきます。
- 駅前には建物を建てずに、森にする。そこに土があれば、雨水の水害とかも抑えられると思います。自然を残すこと、建物を建てないことは、気象変動にも対応できると思います。
- 湯本っぽい森にするとか、湯本だからこそという点を加えていきたいですね。あと主語がないので、市でやって欲しいのか、個人でもやっていくのか。
- いわき市です。
- みんなが共有できる駐車場があるといいです。
- 古い建物は残したい。雰囲気がある建物はまだあるので、着物で街を歩きたいし、家にある着物を活かして生活したい。着物でビジネスをしたい。
- 駐車場については、バリアフリー対応で使いやすいものに。
- ヨガと料理教室をやりたいと考えていますので、その活動が出来る施設があれば。
- 施設の予約も、面倒くさくないもの。(今の市の施設はちょっと面倒)
- 駐車場は、自転車とバイクが多く止められるとよい。
- 特に、自分でやりたいと考えている人、アイデアを教えてください。
- お母さんたちが集える場所、交流できる場所の提供。
- 無料でいられる場所がよい。
- 古い建物を、着物限定の居酒屋。
- おもしろいですね。着物×居酒屋と書きましょう。プロの視点からすると、着物と居酒屋は他の温泉街でも出来るので、湯本でないといけない理由が欲しいですね。
- コスプレイヤーさんとモフモフちゃんなどにやさしい街。
- コスプレイヤーも入れる角打ちもよいのでは。
- レンタルスペースつながりですが、和菓子の練り切り教室をやりたい。
- 森つながりで、落ちた枝で焚火が出来るスペース。
- 古い家をなおして、温泉付きの民泊。
- 森をつくるのであれば、森の中に露天風呂。旅館宿泊者は一般より少し安く。
- おいしいお店は残したい。
- これ非常に複雑な話であって、例えば別の場所の大型店に地元の人さえも行って食事をしている。地元の人が愛して使ってお金を落として、外からも呼ぶ、ということが必要になってくるので、それも一緒に考えましょう。
- おいしいお店の話に乗かって、事業を継承したい若い人を募集する。
- 駅前は、歩いてしか来られない場所にしちゃう。歩いてしか回れない街。
- 昔の味の復活や、おいしいお店を残すのもあるけど、個々にやるのではなく、いくつかを一か所でやってもよいのかなと思います。
- お店の味だけではなく、それぞれの家庭の中にも、あのコロケはおいしいとかあるので、それを摘み取って、お総菜屋さんなどがあると良いな。
- 市場をつくる。
- それを、広場があって長屋のような場所でやれるとよい。
- 湯本町独自のお金をつくる。地域通貨。
- 市外から、フラ女将を見たいと思う人が多かったけど、見られる場所・機会が少なかった。今は若い方もフラを頑張っていて全国レベルになってきている。そんな方が踊れる場所・時間・機会を増やしていくこと。
- 部活の風景を見せられることでもよいよね。
- 空き店舗のスペースを使って、遠野和紙の体験プログラムをやりたい。例えば、和紙に自分の名前を書いて額に入れて持って帰ってもらうなど。

- 温泉療法を取り入れた大学などの連携。温泉医療ツーリズム。
- 温泉クアオルト。医療従事者の協力も得ながら、温泉地で健康増進をしてもらう取り組み。景勝地ではなくても出来る。
- アーティストレジデンスをやりたい。古民家などなんでも利用できる。
- 東京新橋にラ・ピスタという会員制の場外車券売場がある。いわき市には競輪場、湯本には馬の温泉もあるので、場外車券売場があってもおもしろい。
- 街をあげての合コン。湯本には神社仏閣、温泉がある。愛のパワースポットとして、出会いを求めている人を集めて実施。例えば、神社での結婚式や、旅館での披露宴、商店会からのプレゼントなど、成就したカップルに思い出の一日を提供。
- 森にあわせて、排除されないベンチを沢山置く。
- 犬も一緒にいられる空間。
- ドッグラン。
- 今回出されたアイデアを、企画立案の流れに合わせて一旦整理してきます。そうすると、このアイデアに何がまだ足りないのかが見えてきます。出来れば、次回は差別化までお話していきたいです。これは、他と比べて、どのくらい抜けているか、ということなので、投資をする人にとってはとても重要になります。
- 次回は2月6日に開催という予定とのこと。なるべく早期に実現可能なアイデアを選定していくことが一つ、中長期でも大切なアイデアを整理していくことが一つ、この二つをワークショップでやっていきたいと思います。



■ 常磐地区市街地再生整備に関するプロジェクトの検討状況の報告（要旨）

- いわき市都市整備課及び創生推進課より、湯本駅周辺土地画整理事業と（仮称）常磐地区交流拠点施設整備の検討の進捗状況について、11月28、29日開催の市民説明会の資料に基づき報告がありました。また、関連するアンケート調査の締め切りが12月15日までのため、未実施の方に対し協力の依頼がありました。

（参考 URL：湯本駅周辺のまちづくりに関する市民説明会 令和6年11月28、29日）

<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1716961819819/index.html>

（ワークショップ終了時の意見等）

- いわき市は駅前に、図書館や公民館等を集約したいと考えているのであれば、それをアイデアとして記載しては。
- ファシリテーターは、いわき市から過去に業務を受託されている方なので、中立に進めて頂くためにも、次回以降は別の方が実施されるよう検討願います。

－以上－